

1. 「2月県議会」が始まりました。

「2月定例県議会」は2月26日(水)に開会しました。会期は、3月28日(金)までの31日間となっています。

代表質問は3月5日～6日の両日、一般質問は3月7日～12日の予定です。私は、今議会でも一般質問に立ちます。登壇日は3月10日(月)、午前11時からの予定です。

なお、「2月議会」は毎年、会期中に「予算特別委員会」(3/17～3/24)が開催されます。今回、私も委員の一人として、「平成26年度福岡県予算(案)」の審議に加わります。

県議会の代表質問、一般質問、「予算特別委員会」は、いずれも傍聴が可能です。是非とも、県議会傍聴にお見えください。

〔 県議会：福岡市博多区東公園7-7。JRは「JR吉塚駅」下車、正面に向かって徒歩5分。西鉄バスは「千代町」「県庁前」で下車。市営地下鉄は「千代県庁口」下車、県庁方面に徒歩5分。 〕

2. 県の「2月補正予算」、「平成26年度予算」のポイント。

「2月議会」では、まず開会2日目に「平成25年度補正予算(2月補正)」の専決議決を行いました。なお、福岡県の「2月補正予算」、「平成26年度予算」のポイントは以下のとおりです。

①「2月補正予算」のポイント

国の平成25年度補正予算(歳出総額5兆4,654億円)の成立を受け、本県として大幅な補正予算を組んでいます。具体的な補正予算規模は、一般会計予算で362億4,900万円。その内訳は、○公共事業費181億9,400万円、○緊急雇用創出事業50億5,200万円、○地域経済活性化支援6億8,400万円、○その他3億8,500万円となっています。特に、国の大幅な公共事業費の伸びに合わせ、本県でも公共事業費の大幅な伸びがポイントです。

②「平成26年度予算案」のポイント

新年度予算案は、消費税率引き上げに伴う県内景気の腰折れを回避し、地域経済の足元をしっかりと固めるため、国の経済対策に係る平成25年度補正予算、平成26年度当初予算を最大限活用した「14ヶ月予算」となることがポイントです。

「平成26年度一般会計予算」は1兆6,718億円、対前年比401億円、2.5%の増。9年連続の増加で、過去最高となっています。

なお、予算編成と併せて「県財政改革推進プラン」が策定され、平成26年度から平成28年度までに「財政調整基金等三基金」(県の貯金)の取り崩しに頼らない財政運営、通常債残高(県の借金)の確実な減少に務めることとしています。具体的には、人件費の抑制、事務事業の見直し、社会保障費の増加の抑制に取り組むとされています。